

中学生向け絵本づくりワークショップの実施報告

1 概要

「絵本づくり」の作成に携わることにより、子どもたちの表現力、豊かな想像力を育むとともに、絵本をきっかけとして、読書活動や「絵本のまち板橋」の推進へとつなげるため、区内の中学生を対象に、全4回の絵本づくりワークショップを行った。

児童文学作家の川北亮司氏による絵本づくり講義のあと、参加者自身が絵とストーリーを考え、区内印刷・製本企業の協力のもと本格的な絵本を作成した。

2 開催日時

日 程	内 容
7月30日（日）	第1回「児童文学作家 川北亮司氏による絵本づくり講義」
11月5日（日）	第2回「原画の確認【入稿】」
（11、12月）	（株式会社オフセット岩村にて印刷）
1月14日（日）	第3回「製本作業体験」（大村製本株式会社にて）
2月18日（日）	第4回「作品発表会、川北亮司氏による講評」

3 参加者数

14名（13作品）※グループで作成した作品有

4 作品展示

3月1日（金）から3月7日（木）まで、中央図書館図書館ホールで開催する「いたばし子ども絵本展」で展示する。



製本体験の様子



講師と参加者の集合写真

5 アンケートでの主な意見・感想

(1) 楽しかった点

- ・ストーリーを考えるという一から自分でできるところが良かった。
- ・自分の世界を作れること。
- ・それぞれの絵本が、描いた人の個性が出ていてとても楽しかった。
- ・自分で想像した場所や物を絵具でイメージしながら描くのが楽しかった。

(2) 苦労した点

- ・細かい所まで色を塗ったり、何を描くのかを考えたりするのが大変だった。
- ・配色やレイアウトのバランスを考えるのが難しかった。
- ・勉強と絵本づくりを両立させることが一番大変だった。ぎりぎり絵本が完成したので、もっと計画的に進めておけば良かった。
- ・ストーリーを考えるのが難しく、それを絵で伝えるのも難しかった。

(3) 感想など（原文ママ）

- ・製本会社などで絵本づくりを体験できて、本当に貴重な機会だったと思います。絵を描くときの大変さがあるからこそ、本ができ上ったときの達成感があるんだなと感じました。
- ・今回の絵本づくりで楽しさと難しさを感じました。自分の考えた物語が本になることが完成に近づくにつれてワクワクの気持ちがありました。また、絵や物語をいんさつ、本にしてくれた人々、関係者にかんしゃしたいです。今回のイベント楽しかったです！また企画してください！
- ・絵本は、絵の中に人物や物、風景すべてから、あったかいメッセージを伝えてくれて、すてきなと思いました。内容に合わせてバランスを考えながらていねいにえがくのは、とても大変だったけど、読み手があたたかい気持ちになれる本をつくりたいという思いで、心をこめて、ていねいにつくりました。とても楽しかったです。
- ・今まで絵本がどのように出版されているのか、製本がどのようにされているのかがよく分かりませんでした。貴重な絵本づくりや製本を体験できてよかったです。

6 講師等のコメント

(1) 川北亮司氏（第4回講評抜粋）

初めての絵本づくりは、とても良い体験になったと思っています。

良く出来たと思っている人、すごく難しかったと言う人、大失敗したと考えている人もいます。やってみて初めて気がついたことが、たくさんあったでしょう。でも、そのひとつひとつが貴重な経験ですから、ぜひ大切にしてください。

好きなことで楽しむことができる。これはみなさんがこれから生きていく上で、一番大きなエネルギーになるでしょう。

どんなことがあっても、一冊の絵本を完成させたことを忘れずにいて下さい。